

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 6 月 8 日 (2006.6.8)

【公表番号】特表 2005-535739 (P2005-535739A)

【公表日】平成 17 年 11 月 24 日 (2005.11.24)

【年通号数】公開・登録公報 2005-046

【出願番号】特願 2004-515332 (P2004-515332)

【国際特許分類】

C 0 8 G 18/65 (2006.01)

A 6 1 F 2/38 (2006.01)

A 6 1 L 27/00 (2006.01)

D 0 1 F 6/70 (2006.01)

【F I】

C 0 8 G 18/65 B

A 6 1 F 2/38

A 6 1 L 27/00 Y

D 0 1 F 6/70 Z

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 4 月 14 日 (2006.4.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

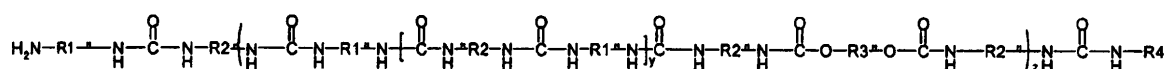
【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

式 (1) による線状ブロック重合体であって



(1)

(ここで R 1 はジアミン、例えばエチレンジアミン、1, 2 - ジアミノプロパンまたは 1, 3 - ジアミノプロパン、から誘導され；

R 2 は芳香族ジイソシアネートから誘導され；

R 3 はエステルジオールから誘導され；

R 4 はジブチルアミンまたはエタノールアミンから誘導され；

更に $0 < y < 4$ かつ $z > 8$ である）、

R 2 及び R 3 が誘導されるモノマーが、R 2 と R 3 の間のモル比が 2 : 1 より大きくなるような量で添加されることを特徴とする線状ブロック重合体。

【請求項 2】

R 1 がエチレンジアミン、1, 3 - ジアミノプロパン、1, 2 - ジアミノプロパン、1, 4 - ジアミノブタン、1, 5 - ジアミノペンタン、または 1, 6 - ジアミノヘキサンから誘導されることを特徴とする請求項 1 に記載の線状ブロック重合体。

【請求項 3】

R 3 がポリカプロラクトンジオール、ポリジエチレングリコールアジペート、またはポリ(ペンタンジオールピメレート)から誘導されることを特徴とする請求項 1 または 2 に

記載の線状ブロック重合体。

【請求項 4】

R 2 が 4 , 4 ジフェニルメタンジイソシアネート、ナフタレンジイソシアネート、またはトルエンジイソシアネートから誘導されることを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれかに記載の線状ブロック重合体。

【請求項 5】

請求項 1 から 4 のいずれかに記載の線状ブロック重合体から製造されたことを特徴とする繊維。

【請求項 6】

繊維が少なくとも 0.1 N / Tex の靱性を示すことを特徴とする請求項 5 に記載の繊維。

【請求項 7】

繊維が 0.2 N / Tex 以上の靱性を示すことを特徴とする請求項 6 に記載の繊維。

【請求項 8】

繊維が 100 % 以下の破断点伸びを示すことを特徴とする請求項 5 から 7 のいずれかに記載の繊維。

【請求項 9】

繊維が 43 % 以下の破断点伸びを示すことを特徴とする請求項 5 から 7 のいずれかに記載の繊維。

【請求項 10】

請求項 1 から 4 のいずれかに記載の線状ブロック重合体から製造されたことを特徴とするフィルム。

【請求項 11】

請求項 1 から 4 のいずれかに記載の線状ブロック重合体から製造されたことを特徴とする多孔性高分子材料。

【請求項 12】

人間または動物の体に移植するためのインプラントであって、そのインプラントが請求項 1 から 4 のいずれかに記載の線状ブロック重合体を含むことを特徴とするインプラント。